

女性活躍推進フォーラム 第4回

本番に備え、プチプレゼンを実施
東京、九州2拠点で41人参加

9月から始まった令和7年度「女性活躍推進フォーラム」も、後半戦の第4回目を迎えた。12月18日にオンラインで開催し、東京と九州の2拠点から24社41人が参加した。山下夏恵委員が全体進行を行い、今回の日直、九州Bグループの甲斐名百后さんがフォーラムを進めた。

今回は、今回の最終プレゼンテーションに向けて、企画内容を練り上げ企画書や投影資料の作成を集中して行った。フォーラム冒頭に、シャッフルグループ(東京・九州)のメンバーをミックスでプチプレゼンを実施。相互に感想やアドバイスを交換し、プレゼンの練習を兼ねて、グループが作った企画の精査を行った。

伴走する委員から、このプチプレゼンとフィードバックは、自グループで作っている企画の客観性や実現性、情報の不足などが本人たちにわかりやすく伝わるように、

その後のディスカッションで効果的な修正が施されるケースが多くあるとの報告があった。

その後グループに分かれ、途中休憩をはさみながら約4時間をかけて課題に取り組んだ。

ディスカッション終了後、次回最終回までに行うことや、プレゼン実施の際のルールの再確認、発表などを決定した。

最後に、羽山雄介副委員長が「次はいよいよラストとなります。もっと交流をしたかった、という声も聞こえ、その機会を増やせばよかったなどというのを私たちの反

プチプレゼンを実施した女性活躍推進フォーラム



省点として持つて帰ります。プレゼンは伝わるまでがプレゼンですので、しっかりと内容を決め、当日は対面であることを活かしてみなさんの良さが発揮されることを期待しています」とフォーラムを締めくくった。

人材育成委員会

12月18日
本部会議室(ウェブ会議)
出席委員等13人

各班の企画方針や進捗状況確認
女性活躍推進フォーラム

女性活躍推進フォーラム(第4回)終了後開かれた委員会では、1月(東京)、2月(九州)に実施され

る最終回のプレゼンテーションに向けて、各グループの企画方針や進捗状況の再確認を行った。各グ

最終回の企画プレゼンに向け各グループの進捗状況などを確認した人材育成委員会



ループとも、この日のグループディスカッションでは、ほ内容を詰め、資料作成など最終段階に着手するグループもあることが報告された。また、東京と九州の交流は今回が最後となり、参加者から交流機会増加の希望があったため、今後の検討課題とすることとした。

「カスタマー・ハラスメント」対応基本方針『対応マニュアル』作成ガイド」公表に伴うオンラインセミナーが、12月16日に開催され、80人を超える参加者があったことが報告された。店舗責任者や人事部門以外からの参加も多く、企業にとって大きな課題であることが分かった。

来期事業計画について、女性活躍推進フォーラム、人材育成フォーラムに関する案が出され、次回に詳細を検討することとした。